

平成20年度 第2回 新潟市水道局入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成20年11月20日(木) 水道局3階 第3会議室		
内 容	1 平成20年度上半期(平成20年4月～平成20年9月)における発注工事状況の報告 2 指名停止措置について 3 当番委員より抽出された工事案件の審議		
委 員 (委員数 5名) (出席数 5名)	委員長	佐々木 隆 輔 (公認会計士)	(出席)
	委員長代理	岩 瀬 昭 雄 (大学教授)	(出席)
	委 員	板 垣 剛 (弁護士)	(出席)
	委 員	市 川 賢 吾 (アルバイト)	(出席)
	委 員	猪 又 勝 (会社役員)	(出席)
審議対象期間	平成20年 4月 1日 ～ 平成20年 9月30日		
抽 出 案 件	10件(対象工事総件数192件)		
制限付き 一般競争入札	4件	①管広20第11号 配水管幹線布設工事 ②管幹20第9号 配水管幹線布設工事 ③管幹20第7号 配水管幹線布設工事 ④浄青営20第1号 1,3,11号ろ過池更生工事	
指名競争入札	4件	⑤中改20第105号 配水管布設工事 ⑥西他20第3号 配水管布設工事 ⑦中他20第36号 配水管布設工事 ⑧浄阿営20第17号 配水ポンプ逆止弁点検修理工事	
随意契約	2件	⑨北他20第1号 配水管布設工事 ⑩浄巻営20第3号 ろ過池点検修理工事	

質問・意見	回答
<p>・ 札入れ額が最低制限価格を下回る業者（無効業者）数が多い案件について</p> <p>・ 予定価格の積算にあたり，施工場所等の状況にあわせた諸経費率の算出は出来ないのか</p>	<p>・ 工事内容に特徴的なものはないが，工事内訳書で入札状況を見ると，他の工事案件に比べ諸経費率が局積算額に対し低い。</p> <p>施工場所（水田地帯），国道工事との同時施工等により施工管理が容易と判断し，諸経費率を上げた入札参加者が多いと推測する。</p> <p>・ 全国一律で厚生労働省の諸経費率算定方式をもとに計算しており，施工場所の状況によって諸経費率をさげる条項はない。</p> <p>独自の算出基準を定めるのもむずかしい。</p>
<p>・ 抽出案件の中に，橋梁への配水管添架工事が2件あるが，契約方法が異なる（競争入札と一者随契）理由を聞かせてほしい。</p>	<p>・ 競争入札案件</p> <p>国道松浜橋上流橋に配水管を添架する工事であり，当案件については国道工事事務所と長期にわたり綿密な工程調整が出来たため競争入札が可能となった。</p> <p>・ 一者随契案件</p> <p>特殊構造の橋梁工事であるため配水管添架工事を同ペースで進める工法となる，あわせて架設構造物を同時使用出来ることから橋梁上部構造の請負業者と随意契約することとした。</p>
<p>・ 一般競争入札案件の浄水場ろ過池更生工事について，入札参加者が少ない。技術的に難しい内容なのか。</p>	<p>・ 特殊な工事であることは間違いなく，施工可能業者は少ない。かといって一社に限定され一者随契とする工事内容ではない。</p>
<p>・ 指名競争入札案件で落札率が低く，下回り業者（無効業者）が多い地域がある。</p>	<p>・ 複数の旧町村業者が一緒になる地域の指名入札が，新たなメンバーによる入札となるため，一般競争のような落札率となる要因ではないかと推測する。</p>
<p>・ 青山浄水場のろ過池更生工事が競争入札であるのに対して巻浄水場のろ過池点検修理工事案件は一者随契としている。装置等の違いによるものなのか。</p>	<p>・ ろ過池の構造も違うが，工事内容において一者随契を行った巻浄水場ろ過池工事は自動ろ過を行う複雑な装置の部品取替えであり，唯一施工可能な業者と一者随契することとした。</p>

(その他)

- ・委嘱期間が平成21年3月31日までであるため、定例会は今回が最後となる。